

## 平成23年度第3四半期報告

平成24年2月14日  
オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(社長 大藤 俊行)の平成23年度第3四半期(4月1日～12月31日)の業績は添付のとおりです。

### 1. 契約の状況

#### ◆新契約(個人保険)の状況 (単位:件、億円)

	平成21年度 第3四半期 累計累計	平成22年度 第3四半期 累計期間	平成23年度 第3四半期 累計期間
新契約件数	181,813	250,208	290,079
うち第三分野	151,734	212,758	237,384

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
新契約年換算保険料	119	152	176
うち第三分野	85	120	137

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
新契約高	3,481	5,331	6,699

#### ◆保有契約(個人保険)の状況 (単位:件、億円)

	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度 第3四半期 会計期間末
保有契約件数	895,646	1,162,717	1,391,935
うち第三分野	600,366	847,111	1,043,783

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
保有契約年換算保険料	966	1,003	1,071
うち第三分野	402	518	616

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
保有契約高	39,321	41,675	44,963

医療保険キュアシリーズ(「医療保険キュア・サポート」含む、以下同じ)や定期系商品(「ファインセーブ」、「ブリッジ」)の販売が好調なことから、新契約件数は前年同期比15.9%増の29万件となりました。

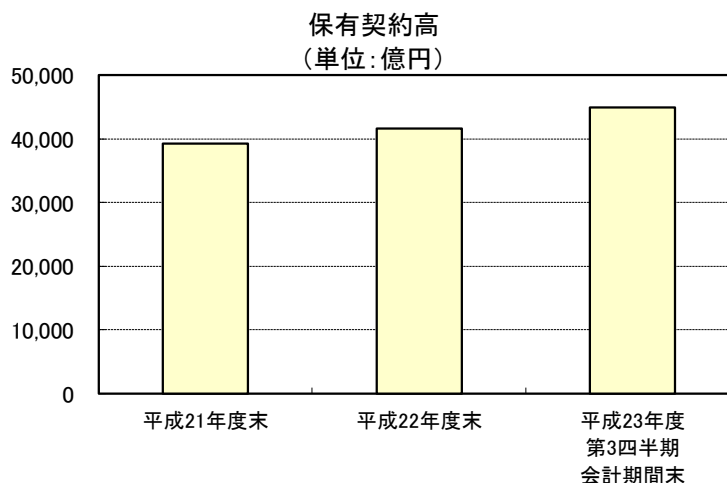
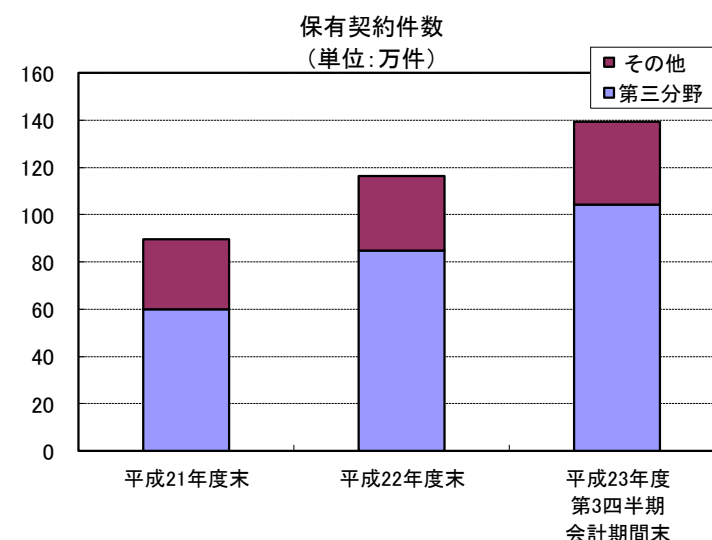
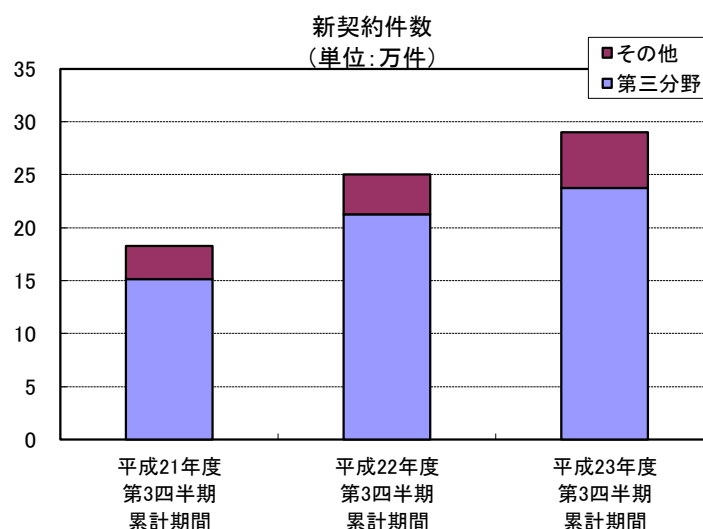
新契約年換算保険料は、同15.8%増の176億円となりました。

また、新契約高は、「収入保障保険キープ」やインターネット申込専用の「定期保険ブリッジ」の販売が貢献したことから、同25.6%増の6,699億円となりました。

新契約の販売が上記のとおり好調に推移したことから、保有契約件数は、前年度末比19.7%増の139万件となりました。

保有契約年換算保険料は、解約等による減少を新契約の増加が上回り、同6.8%増の1,071億円となりました。

保有契約高は、「収入保障保険キープ」や定期系商品(「ファインセーブ」、「ブリッジ」)の増加により、同7.9%増の4兆4,963億円となりました。



## 2. 収支等の状況

### ◆収支・利益

(単位:百万円)

	平成21年度第3四半期累計期間		平成22年度第3四半期累計期間		平成23年度第3四半期累計期間	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険料等収入	75,676	90.5%	78,309	103.5%	84,794	108.3%
資産運用収益	11,474	118.0%	11,068	96.5%	10,913	98.6%
保険金等支払金	89,302	91.4%	69,609	77.9%	57,154	82.1%
資産運用費用	3,579	35.9%	2,064	57.7%	2,903	140.6%
基礎利益	△ 647	-	△ 4,727	-	△ 8,460	-
当期純利益	△ 1,477	-	△ 2,234	-	△ 3,808	-

- ・保険料等収入は、医療保険キュアシリーズやがん保険等の増加により、前年同期比8.3%増の847億円となりました。
- ・資産運用収益は、利息及び配当金等収入、有価証券売却益がともに減少したことにより同1.4%減の109億円となりました。
- ・保険金等支払金は、満期保険金の支払い減少等により同17.9%減の571億円となりました。
- ・資産運用費用は、有価証券売却損の計上等により同40.6%増の29億円となりました。
- ・基礎利益は、保険料等収入が伸長したものの、新契約の販売が好調だったことから新契約獲得経費および標準責任準備金の積増負担が増加したため、△84億円となりました。
- ・当期純利益は、不動産ポートフォリオの入替えに伴い売却益31億円を特別利益に計上したものの、△38億円となりました。

### ◆米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループ(※次頁参照)は、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:百万円)

	2009年度		2010年度		2011年度		2010年度
	第3四半期 累計期間	前年 同期比	第3四半期 累計期間	前年 同期比	第3四半期 累計期間	前年 同期比	
営業収益	87,297	92.0%	89,559	102.6%	98,692	110.2%	123,838
保険料収入	74,850	89.4%	77,586	103.7%	84,188	108.5%	107,696
資産運用収益	11,502	117.5%	11,077	96.3%	13,305	120.1%	14,161
その他収益	944	67.4%	896	94.9%	1,199	133.8%	1,982
営業費用	79,135	83.9%	75,030	94.8%	80,073	106.7%	105,412
責任準備金繰入額等	45,493	82.1%	43,825	96.3%	44,744	102.1%	61,772
資産運用費用	4,267	49.0%	1,832	42.9%	2,521	137.6%	2,154
その他費用	29,375	97.4%	29,373	100.0%	32,808	111.7%	41,487
税引前当期純利益	8,162	1,273.2%	14,529	178.0%	18,619	128.1%	18,426
法人税等	3,035	765.1%	5,334	175.7%	431	8.1%	9,057
当期純利益	5,126	2,098.2%	9,196	179.4%	18,188	197.8%	9,369
総資産	545,235	96.2%	551,534	101.2%	582,160	105.6%	556,635
保険契約債務	409,481	89.9%	395,971	96.7%	399,386	100.9%	398,265
株主資本 (払込資本金)	99,509 (27,500)	126.1%	111,632 (27,500)	112.2%	135,888 (32,500)	121.7%	110,245 (27,500)

医療保険キュアシリーズやがん保険等の販売が好調であったことから、保険料収入は前年同期比8.5%増の842億円となりました。

新契約の獲得が好調であったことや不動産売却益を計上したことから、税引前当期純利益は28.1%増の186億円となりました。また、当第3四半期の法人税等は税制改正に伴う変更後の税率に基づき計算しているため、SEC基準決算の当期純利益では同97.8%増の182億円となりました。

※SEC基準決算と会社法基準決算の異なる点については次ページご参照ください。

<SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

■新契約の獲得経費

SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。

新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が圧縮されます。

■責任準備金

SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

上記の会計基準の違いにより、当社においては、新契約が急増した場合、会社法基準は一時的に利益が減少する傾向があります。

3. 健全性等の状況

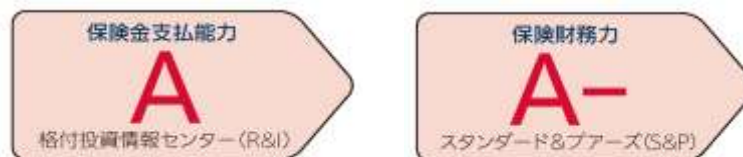
◆健全性・資産等の指標

(単位:億円)

	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン比率	1,596.0%	1,404.1%	1,568.4%
総資産	4,869	4,912	5,101
実質純資産	546	579	694

- ソルベンシー・マージン比率は、前年度末より164.3ポイント上昇し、1,568.4%となりました。上昇の主な理由は、平成23年11月24日に100億円の増資を実施したことから、マージン総額が増加したためです。なお、平成23年度末から適用される新基準によるソルベンシー・マージン比率(参考開示)は、同94.4ポイント上昇し、558.8%となりました。
- 総資産は、前年度末から188億円増加し、5,101億円となりました。
- 実質純資産は、前年度末より114億円増加し、694億円となりました。
- なお、当社は標準責任準備金を積み立てています。

◆格付け(平成24年2月14日現在)



※<オリックスグループについて>

■オリックスは、日本におけるリース業界のパイオニアとして1964年に事業を開始して以来、常に新しいビジネスを追求し、革新的な金融商品・サービスを法人ならびに個人のお客さまにご提供してきました。また、海外においても、1971年の香港進出を皮切りに東南アジア各国にリースを普及させました。現在では、日本を含む世界27カ国・地域に拠点を設け、リースをはじめ、融資、レンタル、自動車、不動産、生命保険、銀行、環境・エネルギーなど多角的に事業を展開しています。

■オリックス株式会社(コード番号:8591)の2012年3月期第3四半期連結決算(2011年4月~12月)

<http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

現在のオリックスグループの事業は、法人金融サービス・メンテナンスリース・不動産・事業投資・リテール・海外の6つの独立したセグメントで構成され、オリックス生命保険は、リテール事業部門に位置しています。

<本件に関するお問合せ>  
 オリックス生命保険株式会社 経営管理部広報チーム 町田・弘重  
 TEL: 03-5326-2605

以上

## <目 次>

1. 主要業績	.....	( 1 )
2. 資産運用の実績(一般勘定)	.....	( 3 )
3. 四半期貸借対照表	.....	( 6 )
4. 四半期損益計算書	.....	( 7 )
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	.....	( 9 )
6. ソルベンシー・マージン比率	.....	( 10 )
7. 特別勘定の状況	.....	( 11 )
8. 保険会社及びその子会社等の状況	.....	( 11 )
(参考)証券化商品等への投資の状況について	.....	( 12 )

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

・ 保有契約高 (単位：件、億円、%)

区 分	平成22年度末		平成23年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	1,162,717	41,675	1,391,935	119.7	44,963	107.9
個人年金保険	1,284	37	1,307	101.8	38	100.7
団 体 保 険	—	3,688	—	—	3,786	102.7
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注)個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したもので

・ 新契約高 (単位：件、億円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間				平成23年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	250,208	5,331	5,331	—	290,079	115.9	6,699	125.6	6,699	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	20	20	—	—	—	0	2.0	0	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## (2) 年換算保険料

## ・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期 会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	100,335	107,183	106.8
個 人 年 金 保 険	874	821	93.9
合 計	101,210	108,005	106.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	51,841	61,617	118.9

## ・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期 累計期間	平成23年度 第3四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	15,278	17,692	115.8
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	15,278	17,692	115.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	12,097	13,798	114.1

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度末		平成23年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	31,176	6.3	28,887	5.7
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	30,171	6.1	25,191	4.9
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	312,351	63.6	355,930	69.8
公 社 債	282,070	57.4	332,654	65.2
株 式	57	0.0	55	0.0
外 国 証 券	21,264	4.3	11,876	2.3
公 社 債	21,264	4.3	11,876	2.3
株 式 等	0	0.0	0	0.0
そ の 他 の 証 券	8,959	1.8	11,345	2.2
貸 付 金	60,026	12.2	41,190	8.1
不 動 産	41,971	8.5	39,391	7.7
繰 延 税 金 資 産	4,705	1.0	6,556	1.3
そ の 他	17,216	3.5	16,573	3.2
貸 倒 引 当 金	△ 6,324	△ 1.3	△ 3,568	△ 0.7
合 計	491,294	100.0	510,152	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	0	0.0	1	0.0

(注) 不動産については土地・建物を合計した金額を計上しております。



















